

## 尿路結石センターが発足 尿路結石治療はどう変わる？

泌尿器科部長 福井 浩二



兵庫医科大学病院で研修後、明和病院や西宮市立中央病院などでの勤務を経て平成28(2016)年に宝塚市立病院へ赴任。令和3(2021)年4月尿路結石センターを立ち上げ、同センター長に就任。日本泌尿器科学会認定指導医・専門医、日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医、日本内視鏡外科学会腹腔鏡技術認定医(泌尿器領域)、日本がん治療認定医機構がん治療認定医。

市立病院  
だより

市民の健康といのちを守ります

### Q.1 尿路結石とはなんですか？

尿の流れる場所に結石(尿の中に含まれる成分が結晶化したもの)ができた状態を言います。結石ができる部位によって、腎結石、尿管結石、膀胱結石と呼ばれています。症状は尿に血が混ざったり、腎結石や尿管結石の場合は移動する時に激痛を伴ったりすることがあります。そのため、救急車で来院される人もしばしばみられます。

尿路結石の患者数は平成17(2005)年までの40年間で約3倍に増加しており、男性は7人に1人、女性は15人に1人の割合で一生涯に一度は尿路結石にかかるかとされています。皆さんの周りにも尿路結石を経験された人がいるのではないのでしょうか。

また、尿路結石は非常に再発しやすい病気で、患者さんの2人に1人は5年以内に再発すると言われています。

### Q.2 どのような治療法がありますか？

小さな尿路結石であれば、飲み薬で自然に結石を出す治療をします。自然に出ない結石は、現在では体外衝撃波碎石術(ESWL)、経尿道的尿路碎石術(TUL、f-TUL)、経皮的腎碎石術(PNL)など、従来の開腹手術に比べ体への負担が少ない治療が行われています。

結石の部位、大きさ、硬さ、生活背景など総合的に判断し、最適な治療法を提案しています。

教えて先生



#### ●体外衝撃波碎石術(ESWL)とは？

その名の通り、体の外から衝撃波を当てて結石を砕く方法で、外来通院による治療ができるため、忙しくて入院ができない人でも治療が可能です。

#### ●経尿道的尿路碎石術(TUL、f-TUL)とは？

尿道から細い内視鏡を挿入し、レーザーで結石を砕いて回収する方法で、入院期間は4、5日間です。当院では、昨年127症例の実績があります。

### Q.3 尿路結石センターでは今までの治療と変わりますか？

体外衝撃波碎石術の機器を更新し、今年3月から稼働しました。従来のレントゲンだけでなく、超音波を用いて結石に焦点を合わせることで、放射線被ばくを少なくし、確実な治療効果を得ることができます。これにより、つらい痛みを伴う尿路結石の早期治療が可能となりました。

また、放射線技師と協力し、CT撮影での結石成分の推定や3D画像、結石体積測定など治療への応用を行う予定です。

さらに、治療だけではなく再発予防にも力を入れるため、検査技師が結石の成分の確認や尿検査の実施、薬剤師が内服薬のチェック、再発しやすい患者さんには栄養士が栄養指導を行います。こうした院内の連携体制の充実によって診断から治療、予防までを一貫して行えるようになりました。

尿路結石を予防するバランスのとれた食事や適度な運動、規則正しい生活は、メタボリックシンドロームの予防にもつながるので継続して取り組むことが大切です。

### Q.4 最後にひとことお願いします

尿路結石でお困り際には、当院の「尿路結石センター」をぜひ思い出してください。かかりつけ医を受診の上、当院泌尿器科へお越しください。